



人類に
奉仕する
ロータリー



John

ジョン・ジャーム
2016-17年度国際ロータリー会長

No.6

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

“素晴らしい仲間を持とう”

- ① ロータリーは親睦から
- ② 利他の心を持とう
- ③ フィロソフィを持とう

例会記録 (2016. 8. 5 (金)) 通算3,090回

◆開会

◆国歌斉唱「君が代」

◆唱歌 ロータリーソング「奉仕の理想」

◆「四つのテスト」唱和

◆ゲスト紹介

小西智由様 (RYLAセミナー受講生)

◆歓迎歌「松の緑」

◆プログラム予定

| 8月19日 (金) | 8月26日 (金) | 9月2日 (金) | 9月9日 (金) |
|-------------------------------------|--|-------------------|---|
| クラブアッセンブリー ガバナー公式訪問 ガバナー室津義定氏 | 高砂青松RCとの移動合同例会 「どうなる!?日本経済: マーケットを読み解けば」 滝川好夫様 (経済学者・大学教授) | 卓話「万灯祭」 信原智彦会員 | 卓話「人間にとってなぜ 教育が必要か?」 伊藤朋子様 (大学教授) |

◆出席報告

本日 8月 5日 会員数39名 出席者25名 出席率73.52%
前々回 7月22日 会員数39名 修正出席者38名 出席率97.43%修正

◆MAKE-UP

| | | |
|---------|--------|---------------|
| 西田 秀雄会員 | 高砂青松RC | 8月 3日 (8月 5日) |
| 後藤 純次会員 | e-CLUB | 8月 4日 (8月 5日) |
| 濱崎日出夫会員 | e-CLUB | 8月 3日 (8月 5日) |
| 濱崎日出夫会員 | e-CLUB | 8月 3日 (7月29日) |
| 森本 幸吉会員 | e-CLUB | 8月 2日 (8月 5日) |
| 堤 哲雄会員 | e-CLUB | 8月 1日 (7月29日) |
| 本庄 幸保会員 | e-CLUB | 7月29日 (7月29日) |

◆お祝い

○出席100%祝

脇谷 政孝会員 14年
丸山 恵右会員 11年
坂井 智代会員 11年

○誕生日祝

大村 泰司会員 山名 克典会員
堤 哲雄会員 稲垣 直人会員
本庄 幸保会員

○配偶者誕生日祝

名嶋 一成会員 (多寿子様)
後藤 武男会員 (澄子様)
中山 英之会員 (貴美子様)



出席100%祝



誕生日祝

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

中野 哲郎会長……RYLAセミナー受講生の小西智由さん、ようこそ高砂RCへ。

脇谷 政孝会員……天理大学柔道部の不祥事の際に、皆様に署名でお力添えいただいた大野将平選手が、リオ五輪柔道男子73kg級に出場します。8/8応援してやって下さい。

小西さんご来訪ありがとうございます。

佐野 敏晴会員……小西智由様、本日のRYLAセミナーの報告ご苦労様です。

坂井 智代会員……出席100%祝(11年)を頂きありがとうございます。

大村 泰司会員……誕生日祝を頂きありがとうございます。

丸山 恵右会員……出席100%祝(11年)を頂きありがとうございます。

堤 哲雄会員……誕生日祝を頂きありがとうございます。

脇谷 政孝会員……出席100%祝（14年）を頂きありがとうございます。

稲垣 直人会員……誕生日祝を頂きありがとうございます。

中山 英之会員……家内の誕生日祝を頂きありがとうございます。

後藤 武男会員……家内の誕生日祝を頂きありがとうございます。

名嶋 一成会員……家内の誕生日祝を頂きありがとうございます。

早退3名

◆幹事報告（3,090回）

〈ガバナー事務局より〉

◎『地区補助金プロジェクト見学訪問のご案内』

実施クラブ・上郡佐用ロータリークラブ
・淡路三原ロータリークラブ
・香住ロータリークラブ

が届いております。

◎使用禁止イメージ画像についてのご連絡が届いております。

〈その他〉

◎高砂市社会福祉協議会より、賛同・団体会員の加入の『お礼』が届いております。

〈例会変更のお知らせ〉

◎高砂青松RC

9月21日(水) → 9月24日(土) 納涼例会

於：シーショア御津岬

◆会長の時間

「京セラフィロソフィ」の浸透、推進を図る中で生じた反発心にどう対応したか

この『京セラフィロソフィ手帳』には少し堅苦しく、理屈っぽく、厳しい生き方を要求するようなことが書かれています。つまり、「わが社はこういう考え方で経営していこうと思う。だから皆さんもこういう考え方になってほしい」ということを、京セラ創業の昭和三十四年当時から今でも私は社内で言い続けています。

京セラ創業の年は、戦後十四年を経過して民主主義、自由主義という考え方が台頭し、日米安保改定阻止運動が広がって学園紛争が起きるなど、左翼的な風潮が顕著になってきた時でした。

そのような時代背景の中で、「京セラフィロソフィ」というストイック（禁欲的）で、またまじめくさった厳しい生き方を要求していくと、若い社員たちの間からは、「何でそ



豊田克義幹事



中野哲郎会長

んなことを押しつけられなければいけないのか。京セラという会社は思想統制をするのか。どんな考え方を持とうと、それは個人の自由ではないか」という声が出てきたのです。

本来、自由であるべき思想・考え方を、「われわれはこういう考え方をしよう」というものですから、社員からたいへんな反発を受けました。特に大学を卒業したインテリであればあるほど、強く反発してきたのです。

そのことで、私はたいへん悩みました。そして、「京セラフィロソフィ」に同調できない人に対しては、「君の考えと私の考えは合わない。たとえ優秀な一流大学を出てきた人間であろうと、考え方が合わなければしょうがない。他の会社へ行ってもらっても結構だ」と言って辞めてもらうこともありました。思想を分かち合えない、哲学を分かち合えない人には辞めてもらってでも、私は全従業員でフィロソフィを共有しようとしたのです。

「われわれはこういう考え方をすべきだ」ということを従業員に対して推し進めると、必ず従業員たちから、思想・哲学・考え方を強制するののかという反発があります。私自身にも、確かにそれは行き過ぎではないかなと思う気持ちも少しはありました。しかし、悩みながらも、何とか「京セラフィロソフィ」が浸透するような方向に持っていったわけです。

目指すところが違えば登る山も違う

京セラを設立してしばらくしたころ、まだ世間が「フィロソフィ」というようなことをいくら言っても分かってくれない時代に、こんな出来事がありました。

京都にワコールという会社があります。創業者である塚本幸一さんは京都の経済界では重鎮で、若い経営者と一緒にお酒を飲まれる機会がよくありました。

ある時、私ども若い経営者たちが一緒になってお酒を飲んでいました。私は、「京セラフィロソフィ」というまじめくさった、ど真剣な話を、一杯飲みながら話していました。するとある経営者が、「いや稲盛さん、私はそうは思いませんね。私の人生観は稲盛さんが言っているものとは違います」と言いました。

その時、いつもはニコニコしながらお酒を飲んでいる塚本さんが、たいへんな剣幕で、「オイッ！おまえは何を言っているのだ。稲盛君はこういう考え方をしているということに対して、『いや私はそうは思わない。こう思う』ということをおまえは言えるレベルか。私でも彼には一目も二目も置いて、経営哲学というようなことに関しては何も言えないくらいなのだ。それなのにおまえは、『私はそうは思わない』というようなことを言えたのか」と烈火の如くしかられたのです。

しかられた彼は、何でそんなに言われなければいけないのかと、膨れっ面をし、私も突然だったのでびっくりしていたのですが、実は後になって、塚本さんが言われた意味に気付きました。それは、この方程式にある「考え方」の違いだったのです。

例えば、人生という山に登るのに、どの山に登りたいと思っているかによって、その準備は異なります。低い山に登るのであれば、ハイキング並の軽装で登れるでしょう。ところが、冬の八甲田山に登ろうと思えば、防寒具の手配から、ビバーク（露営）をするための準備など、冬山登山のあらゆる装備をしておかないと登れません。ましてやエベレストにでも登ろうと思えば、ロック・クライミング（岩登り）の技術も身に付けておかなければいけないでしょう。

ですから、どういう人生を生きるのかによって「考え方」はいろいろある、ということなのです。

「君は稲盛君に対抗して、『私はそうは思わない。私はこう思う』と言うのが、君と稲盛君では比べようがないのだよ。君のそういう考え方で、京セラと同じくらいの規模の会社経営をやっているのなら、それは議論になるかもしれない。だが、君は二代目として親から引き継いだ商売をし、また、経営規模や収益性についても京セラにははるかに及ばない。だから、稲盛君の考え方と君の考え方では比べようがないじゃないか」

塚本さんは、このようなことを言いたかったのではなかったのかと、後で私は気付いたのです。

目標をどこに置くかによって、「考え方」は違ってくるのです。

私は京セラ創立以来、社員に対して「少しストイックで、少しきまじめで厳しい、そういう生き方をしよう」と言い続けてきました。もちろん、社員の中にはこれに反発する者もいました。

その時に、「私はこういう山に登ろうと思っています。だからこういう装備が必要なのです。つまり、こういう考え方をするのです。」「もし、あなたがもっともっといい加減な人生を歩こうと思われるなら、それはそれで結構です。私どもの会社はこういう生き方(考え方)をすることによって、こういう山に登りたいと思っています」というふうに言えば分ってくれたと思うのですが、そのことに気付いたのは、塚本さんの一件があってすいぶん後になってからでした。

京セラは、目標を「世界一」に据えた

京セラは、資本金三百万円、従業員二十八人で、宮木電機という会社の支援を受けてスタートしました。京都市中京区西ノ京原町という所にある宮木電機の倉庫をお借りして、一階を工場に、二階を事務所して始まったのです。

私はその時から、「今に京セラを京都一の会社にしよう。いや、京都一を超えて日本一の会社にしよう。いや、日本一の会社を超えて、このセラミックスの業界で世界一の会社にしよう」ということを従業員に言っていました。たった二十八人しかいない従業員を前にして、連日「世界一の会社にしたい」と話していたわけです。

このように、漠然とですが「世界一の会社になる」という高い目標を立てて、その目標に向かってがんばろうと思っていました。その目標のために私は「少しばかりストイックな、きまじめな、生き方」をしていきたいと思っていたわけです。ところが今になって考えてみると、この「考え方」は、まさに京セラが世界的な企業になっていくために絶対に必要なものだったのです。

京セラを創業して二十年くらいたってきたころから、一流大学を出てきた人たちも、あまり反発をしなくなってきました。それは、「こういう考え方で一丸となって会社経営を行ってきた結果、このような立派な会社になった」という実績があるものですから、反論できなくなってしまったのだと思います。

5. 報告事項

- 1) 濱崎会員 8月31日退会承認
- 2) 社会奉仕委員会の件
 - ①サマープログラム募金2016承認

6. その他

- 1) 会員推薦について
- 2) 会費納入先変更について承認

7. 閉 会

| | | |
|-----------------------|-----------|---|
| 会 長 中野 哲郎 | 幹 事 豊田 克義 | 雑誌会報委員長 後藤 宗久 |
| 例会日時 毎週金曜日12時30分より | | 例会場 高砂商工会議所2階会議室 |
| 高砂ロータリークラブのホームページのURL | | http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/ |